

特定非営利活動法人 ウェル・クラフト 第9回理事会議事録

1. 日 時：2019年3月6日（水） 18:00～19:30
2. 場 所：特定非営利活動法人なごみ らいふふいーんど753 2F研修室
（京都市伏見区竹田北三ツ杭町17番地）
3. 出 席：理事総数：3名
出席者数：3名（うち、書面表決者数：0名）
本人出席者：平野功、中村里美、廣海格
書面表決者：なし
欠席者：なし
オブザーバー出席者：なし
4. 審議事項：
 1. 製造・販売事業
 2. 事故報告
 3. ボランティア保険
 4. クラウドファンディング利用申し込みにあたっての整理事項
 5. 介助者操作型電動車いすの認可を求める取り組み
 6. 車いす電動化ユニットの試走会
 7. 今後の予定
5. 議事の経過の概要及び議決の結果
 1. 製造・販売事業
車いす用体重計
Haさんより依頼、製作中
車いす用レインコート
Kiさんのレインコート最終確認済み
Iさんが縫製をしてもらえそうである
Koさんのレインコート型紙製作中
Yoさんに生地の必要量を出してもらうよう依頼し、その連絡待ち
レインコートの縫製の依頼先の確保に向けて
NPO法人 ゆりかもめに確認
洋服1着2000円、鞆等1個500円程で製作
洋服等の縫製はしているが、レインコートは難しいのではないかと

次回注文が有った時に依頼するか再検討する

車いす電動化ユニット

京都頸髄損傷者連絡会定例会後に紹介し、関心を示してくれた

2. 事故報告

発生日時 2019年 2月15日(金) 14時30分頃

発生場所 NPO 法人なごみ前の道路 南側の下り坂

事故の状況とその後

介助者操作型電動化ユニット(牽引式)の試験中、下り坂でスピードが増し直進性が不安定になり右に旋回し遠心力で車いすごと左側に転倒した。車いすに乗っていたTuさんが擦過傷、打撲のケガを負った。

その後ケガは順当に回復している。

3/1(金)に事故後初めて作業に来られ、ウエル・クラフトからお見舞い品を渡した。奥さんとも会え、あらためてご迷惑・ご心配をおかけしたことを謝罪した。その後は以前と同じように作業に来られている。

今後の対策

走行試験には転倒や衝突などの危険が伴うことを十分認識して臨む。

必要に応じてヘルメットや手袋を着用する。

介助者操作型電動化ユニット(牽引式)の試験、開発は今後行わない。

活動中の負傷などに対応する保険について調べ加入を検討する。

※詳細は別紙事故報告書を参照

2/19(火)にぐらんどすらむの表さんとなごみの竹本さんに報告する。これからはこの形での活動が続くと思うので、事故への対処がきちんとできるように一緒に対策を考えて取り決めをしておきたい旨を伝え、同意を得る。

検討課題

なごみ・ぐらんどすらむの職員が支援中の場合はどうなるか

ボランティアではない職員の関わり方

保険や賠償などの責任の所在はどこか

加害者と被害者との関係

ボランティア保険への加入の仕方

3. ボランティア保険

先日の事故を受け、活動中の負傷などに対応できるよう保険に加入する

①ボランティア活動保険

京都市社会福祉協議会

<http://www.srm-net.co.jp/smile.php>

補償内容・保険料

加入は1名につき1口です。保険期間の途中で加入された場合でも保険料は同額となります。また、中途解約による保険料の払い戻しは出来ません。

プラン		基本コース			天災コース		
		地震・噴火・津波によるケガも補償！					
		Sプラン	Aプラン	Bプラン	天災 Sプラン	天災 Aプラン	天災 Bプラン
補償内容		熱中症によるケガも補償！					
傷害補償	死亡・後遺障害保険金	900万円	900万円	2,000万円	1,100万円	1,500万円	3,300万円
	入院保険金日額	5,000円	6,500円	10,000円	5,000円	6,500円	10,000円
	通院保険金日額	3,000円	4,000円	6,000円	3,000円	4,000円	6,000円
賠償責任補償 (身体障害・財物損壊共通)		1事故につき(支払限度額) 3億円 (免責金額：なし)					
特約	天災補償	×	×	×	○	○	○
被保険者1名あたりの保険料		250円	300円	500円	450円	600円	1,100円

基本コースAプランに2019年4月より作業に来られた方に順次加入してもらう

保険料はウェル・クラフトが負担する

そのことと、補償内容による補償が受けられること、それ以上の補償はできないことを説明し、同意書を提出してもらう

②NPO 活動総合保険

あいおい損害保険株式会社

<http://hokenbu.air-nifty.com/NPOhoken.pdf>

4. クラウドファンディング利用申し込みにあたっての整理事項 (次回検討)

(1) ウェル・クラフトの概要 (中村担当)

スローガン

『自分たちで作り出す社会貢献』

理念 (案)

- 一、障害のある人とのつながりを大切にしてもものづくりを進める。
- 一、障害のある人の生きづらさの解消につながるものづくりをする。
- 一、個人の経験やアイデアを生かし柔軟な思考で課題に取り組む。
- 一、ものづくりを通して、障害のある人と共に生活課題に取り組み住みやすい社会をめざす。

目的

障害があるが故にまた車いすであるが故に、日常生活で不便を感じることはいろいろあります。そんなとき、ホームセンターで売っているような商品にちょっとした工夫を加えることで、不便を解消し生活を快適にするグッズに変身させることもできます。

新しい技術を開発する力はなくとも、個人の経験やアイデアを生かしたものづく

りで、障害者の生活を少しでも快適にできるような貢献を、私たちは進めていきたいと思っています。また、この活動で障害者の就労機会を増やしたり、支援事業を行うなど、多面的な貢献を進めていく予定です。

(2)活動状況（平野担当）

活動場所

NPO 法人なごみの 1 階を工房としてお借りしています。約 25m² ほどのスペースに様々な工具や作業台があります。トイレや駐車場（要予約）もあります。

活動日時

火・金 11:00～15:30 水 13:00～15:30

自宅で作業が可能な方はいつでも構いません。

作業内容

- ①木工・金工作業（車いす用体重計・携帯用手動運転装置などの製作）
- ②縫製作業（車いすユーザーのレインコートなど使いやすい製品の製作）
- ③購入・運搬作業（ホームセンターなどでの材料の購入や運搬）
- ④障害者の支援（移動や作業などでの支援）

安全に気をつけながら、それぞれの方のできる作業を行っています。安心してお気軽に活動に参加してください。

(3) ウェル・クラフトの信頼、客観的評価・アピールポイント

どこから信頼や評価を受けているか

- ①京都新聞社社会福祉事業団の助成金を獲得したこと
- ②製作過程に関わった人たち、ボランティアの人たちの写真を改めて撮って使う
- ③工房以外での活動も掲載

レインコートや体重計の納品先など

(4) クラウドファンディングを利用してしたい事、1 との関連、合理性（廣海担当）

ウェル・クラフトの移動手段として使うこともアピールする

ウェル・クラフトが利用するときも料金を支払う

他団体が利用するときも提供できるようにしたい

(5) その他、今後法人の展開として考えていること

以上のことを分かりやすく説明できると良いのではないか

言語化、写真での効果的なアピール

二人乗り電動車いすの認可に向けての取り組み

5. 介助者操作型電動車いすの認可を求める取り組み

手動車いすと電動ユニットを縦に連結した当事者と介助者の 2 名が乗る電動車いす
電動車いすが支給されない重度障害者の外出する機会を増やす

- ①介助者操作型電動車いす（2 人乗り電動車いす）を認めてもらうための特区申請の

準備を進める

②他団体・事業所への協力依頼を進める

③2人乗り電動車いすを開発中の他の企業等との連携を検討する



Honda ふれモビ Concept

株式会社 EXEDY 汎用電動駆動ユニット

④試走会（梅小路公園、植物園、鴨川など）を実施してアピールする

6. 車いす電動化ユニットの試走会

目的：電動化ユニットの性能を確認する

当事者・介助者が体験する

市民へアピールする

日時：2019年 4月21日（日） 12:00～15:30

※雨天時は 4月28日（日）→5月12日（日）に延期

12:00～12:30 昼食

12:30～13:00 準備

13:00～15:00 試走

15:00～15:30 片付け・撤収

場所：梅小路公園ステージ付近

使用届提出（車いす使用者と介助者の交流・体験会として申請）

準備物：自走用ユニット2台

介助用ユニット2台（1台分製作が必要）

車いす1台

運搬用車両

参加者：当事者

介助者

7. 今後の予定

第10回理事会

4 / 3 (水) → 4 / 10 (水) 18:00~19:30

※下線部分は提案に対する補足や意見

6. 議事録署名人の選任に関する事項

議事録署名人として中村里美、廣海格の2名を選任、承認した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

議 長 平野功 ⑩

議事録署名人 中村里美 ⑩

議事録署名人 廣海格 ⑩